

その他の家具・装備品製造業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2001	4	17 ～ 18	座椅子製造工場において、座椅子の骨組みである金属パイプにスポンジ材を貼り付けているときに、突然火災が発生し、逃げ遅れて焼死した。	512	16	1～ 9
2001	6	15 ～ 16	建具の取付工事を終え次の現場へ軽ワゴン車で向かって走行中、県道の赤信号で停車していたときに後から来た大型保冷車に追突され、さらに前方にいた乗用車に追突して炎上し、焼死した。	221	17	50 ～ 99
2001	8	13 ～ 14	箱型(20×20×5cm)に組んだ木枠の側面を丸のこ盤で切断中に、木箱が反発し、左腹部当った。	131	4	10 ～ 29
2007	4	14 ～ 15	被災者は、昇降丸のこ盤を使い屋根用部材（材質けやき、長さ86.6cm、幅約11.2cm、厚さ7.3mm、）の端部を幅約2cmに縦引き作業していたところ、切れ端の材が反ぱつし、被災者に突き刺さり、死亡した。反ぱつした材は、先端部が約11cmに渡って割れ、尖った状態となっていた。	131	4	1～ 9
2007	12	10 ～ 11	仏壇製造工場の2階にある西側塗装室内から出火し、鉄骨3階建て延べ約1580平方メートルの工場建屋が全焼した。この火事で、3階で金箔貼り作業をしていた作業員2名が逃げ遅れて死亡した。	512	16	30 ～ 49
2007	12	10 ～	仏壇製造工場の2階にある西側塗装室内から出火し、鉄骨3階建て延べ約1580平方メートルの工場建屋が全焼した。この火事で、3階で金箔貼	512	16	30 ～

		11	り作業をしていた作業員2名が逃げ遅れて死亡した。			49
2010	9	21 ～ 22	ベッドに使用するスプリングを製造する職場において、硬鋼線（コイル状）の重さを天井クレーンを使用して計量する過程で、何らかの原因により感電したものと思われる。硬鋼線設置台のモーター部分または天井クレーンからの漏電等が考えられる。	169	13	100 ～ 299
2014	2	14 ～ 15	被災者は、圧縮成形機を使用してウレタン製ソファの中身を成形する作業中、同機械に上半身を挟まれ被災したものと推測される。災害発生状況を現認した者はおらず、第一発見者によると、被災者は、同圧縮成形機のそばで顔面及び右手甲に火傷を負ってぐったりしていた。	169	7	100 ～ 299
2016	4	7 ～ 8	国道で、ワンボックスカーを運転中、道路左脇の側溝に転落し、側溝脇にあった電柱に衝突した。事業場所属労働者である運転手は頸椎損傷により、助手席同乗の労働者は外傷性くも膜下出血により、それぞれ発生同日死亡した。	231	17	1～ 9
2016	4	7 ～ 8	国道で、ワンボックスカーを運転中、道路左脇の側溝に転落し、側溝脇にあった電柱に衝突した。事業場所属労働者である運転手は頸椎損傷により、助手席同乗の労働者は外傷性くも膜下出血により、それぞれ発生同日死亡した。	231	17	1～ 9
2019	9	12 ～ 14	パネルソー（ダブルソータイプ）で木製フレーム側面の切削加工を行うため、左右二本の「ソーユニット」の幅を調整していたところ、何らかの要因でソーユニットの間で頭部を挟まれた。	131	7	10 ～ 29
2019	1	20 ～ 22	日帰り出張をし、帰りの飛行機の機内で胸痛を訴え、突然意識を失った。A E D等の措置が行われたが、同日午後死亡したもの。	921	90	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.htmlに戻る。